

登録コード	E7167400	開講年度	2026				
授業科目	卒業研究					担当教員	水口 崇
英文授業名	Graduation Study					副担当	
単位数	5	講義期間	通年(集中)	曜日・時限	集中・不定期		対象学生
講義室	教育研究室			授業形態	演習	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー	該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					【授業の達成目標】	
	2 6 E カリ, 2 5 E カリ, 2 4 E カリ, 2 3 E カリ, 2 2 E カリ, 2 1 E カリ, 2 0 E カリ						
	教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観						
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能						
(2)授業で学べる「テーマ」	環境共生						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	1．仮説に基づいて実験・調査等を実施する。 2．その結果を論理的に文章にまとめる。						
(5)授業計画	第 1 回 研究とは 第 2 回 着想・着眼点 第 3 回 理論の参照と構築 第 4 回 実験結果と理論 第 5 回 研究結果の学術的価値：実践研究 第 6 回 研究結果の学術的価値：基礎研究 第 7 回 研究の内容論と方法論 第 8 回 研究知見の貢献 第 9 回 研究知見の貢献度の評価 第 1 0 回 実験の長短 第 1 1 回 調査の長短 第 1 2 回 観察の長短 第 1 3 回 事例の長短 第 1 4 回 システマティックレビューとメタ分析の比較 第 1 5 回 データ収集：実験 第 1 6 回 データ収集：調査 第 1 7 回 データ収集：その他 第 1 8 回 データ収集の注意点 第 1 9 回 問題と目的 第 2 0 回 文献レビュー 第 2 1 回 方法 第 2 2 回 機材や尺度 第 2 3 回 結果 第 2 4 回 差を見る統計 第 2 5 回 関連を見る統計 第 2 6 回 考察 第 2 7 回 先行研究の整理と理論の選択 第 2 8 回 文献リストと謝辞【授業アンケートの実施】						
(6)成績評価の方法	成績評価の考え方は、次の通りである。 ・レポ - ト及びプレゼンテーション内容により、みずからが考え、みずからの意見を表現できるかを はかる（30％） ・定期試験により、保育内容についての実質的な知識・技能を備え、それらを応用できるかを はかる（70％） ・得点率による評価基準は次のとおりとする。 90％以上 秀, 89-80％ 優, 79-70％ 良, 69-60％ 可, 59％以下 不可。						
(7)成績評価の基準	授業で解説した内容と同レベルの内容が書かれていれば「水準にある」、より高いレベルの内容が書か れていれば「かなり上にある」、やや高度なレベルの内容が書かれていれば「やや上にある」、非常に 高度なレベルの内容が書かれていれば「卓越している」。						
(8)事前事後学習の内容	毎回の授業時に指示される課題内容について、当該テーマの研究の背景や関連する事柄の調査、授業で 学んだ内容を拡張する目的で、さらに広く深く文献研究を行うなど、事前・事後の取り組みを行い授業 に臨むこと。						
(9)履修上の注意	取り扱った内容のみでなく、予習や復習によって知識や見解を広げ、現代の教育問題について深く理解 すること。						
(10)質問、相談への対応及び連絡先	水口崇 mizutaka@shinshu-u.ac.jp 先						

【教科書】	特に無し
【参考文献】	適宜紹介する